

まちづくり懇談会特別企画 若者・子育て世代編

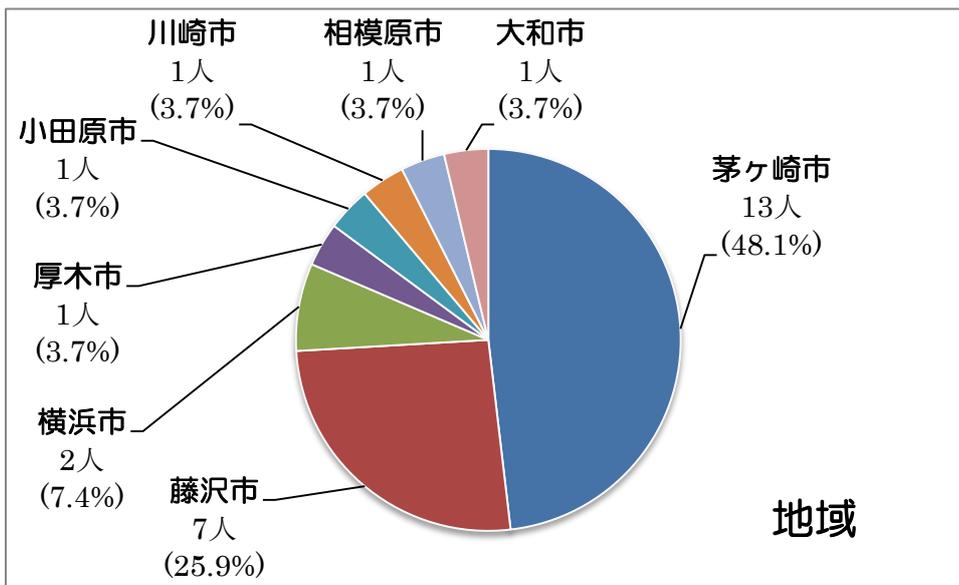
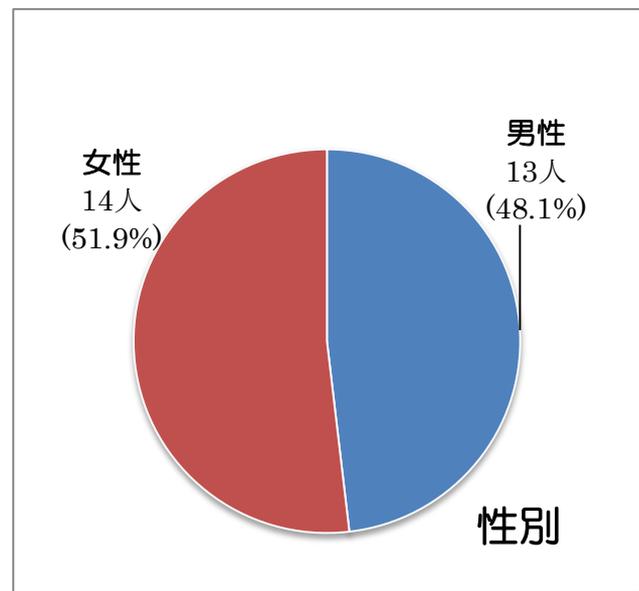
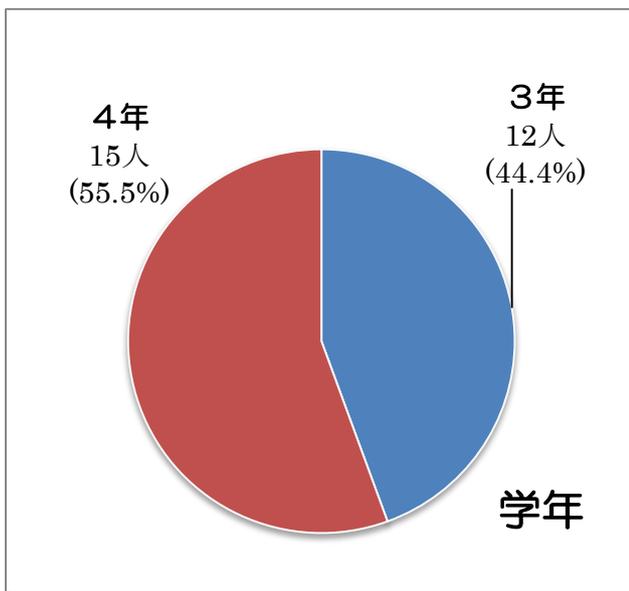
～文教大学梅村仁ゼミ生との懇談～

○参加者アンケート集計結果

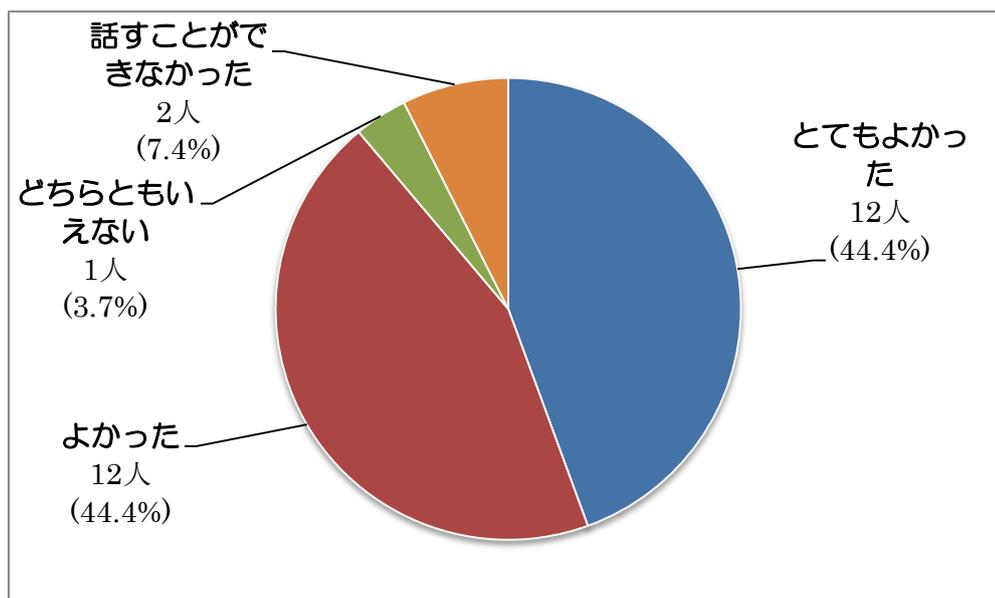
参加者：27人、アンケート回答者：27人

※割合は、すべて小数点第二位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合があります。

<問1>ご自身について



<問 2>あなたと町長との対話はいかがでしたか。



【具体的意見：とてもよかった】

- ・丁寧に答えていただけたので、自分が疑問に思っていたことを解決できました。ありがとうございました。
- ・貴重な機会であり、直接意見のやり取りができたことが非常に有意義なものであったから。
- ・質問の返答を聞き、自分の知らない寒川町のことが沢山知れて有意義だった。
- ・寒川についてあまり知らなかったが理解することができました。どのような町づくりをしていくのかの方向性や町としてどのようにしていきたいのかが知ることができました。
- ・私は地方出身で寒川町のことについて全然知らなかったのですが、お話を聞いてとても分かりやすく中身までちゃんと聞いたので学ぶことがたくさんあってとてもいい機会でした。
- ・様々な角度から意見をぶつけたり、教えてもらうことができたため非常に良い機会になりました。
- ・町長へのメッセージについて質問した際、1通1通目を通してお返事いただけていることがとても良かったです。しっかりと他のメンバーに対しての質問にも答えていただけてとてもよい懇談会でした。
- ・寒川町についてほぼ何も知らなかったのですが、取り組みやまちづくりの状況について知ることができました。
- ・今回、2回目の参加でしたが初回に比べ活発な意見交換ができたのではないかと思います。町長の”寒川愛”が伝わってきました。
- ・前回の懇談会に参加してから、実際に寒川町に出向くことはなかったが、実際の寒川町の現状や課題を改めて知ることができた。
- ・直接話す機会そのものの体験が自分にプラスだった。寒川を知りたいと思えました。
- ・町長と直接お話できるというとても貴重なお時間でした。寒川町が置かれている現状、課題を熱意をもってお話されているのが印象的でした。

【具体的意見：よかった】

- ・普段聞けない内容の話を一緒に懇談することができ自分自身の考え方や見方が刺激された。また、今まで以上に寒川町に対する意識も高くなり色々知ってみたいなと思うところもあった。
- ・貴重なお時間でした。町長をはじめ職員の方々に意見を聞いていただき、まちづくりに参加した気分になりました。

- ・町長さん・行政側の取り組み、寒川町を良くしようという思いがとても伝わってきたからです。
- ・昨年も参加させていただきましたが、どうしても利用する機会より寒川町のイメージは、初詣に行った寒川神社のイメージが強かったです。学生の意見にしっかりと答えていただけたので、町への理解が深まりました。
- ・昨年とはまた違う魅力の発信で、新たな良さを知ることができたから。
- ・こちらの質問にも丁寧に答えていただき、今まで知らなかったことにも気がつくことができた。
- ・もっとお話しをさせて頂きたかったです！ご丁寧な説明を頂けてとても勉強になりました！
- ・大変貴重な話で、今現在の寒川の問題点がよくわかりました。もう少し、対話する時間が欲しかったです。
- ・学生の意見に対して丁寧に返答してくださって、町長の考えやビジョンが理解できた。
- ・学生の意見と町の現実が見えたので良かったと思いました。様々な理想がある中でどれだけそこに近づけていけるのかが大切だと感じました。
- ・寒川町の現状を学び、私たち若者の意見を聞いていただけたことは、とてもありがたいことだと思います。自分の地元と重ねながら町づくりについて考えを深めることができました
- ・あまり寒川に接する機会がないため、今回の懇談会で現在行われている取組やそれに対する考えや現場の声、それに対する自分以外の学生の意見を聞くことができて自分にはない観点にふれることができたため。

【具体的意見：話すことができなかった】

- ・質問したいことがありましたが、時間が無くなってしまいました。また機会があったら、お話ししてみたいです。
- ・寒川についてあまり知らなかった。時間の都合上。

<問3>あなたが考える寒川の魅力やよいところは何か。

- ・ 神奈川に来たことない人が想像する町は桜木町や横浜など明るい町が中心である。だから、県外から来た人が割と多くガヤガヤしていたり、うるさいかなと思う県民がいるのではないかなと思う。そんな中寒川町は自然が豊か、静かな町というイメージがあり、それはこれで一つの良さなのではないかなと思う。もし、寒川町が横浜みたいな町になるのはまたそれは違うのかなと感じる今の良さ魅力が今住んでいる住民が住みたいと思った要因だと思うので自然が豊か、静かな町というのはとても魅力的だと思う。
- ・ 田舎はとても良いと思います。私は田舎出身なので、田舎ならではの温かさのある寒川さんはとても魅力的だと思います。
- ・ 自然 環境 神社
- ・ あらゆる意見を受け入れているという体制が良いと感じました。
- ・ 緑豊か、立派な神社
- ・ 自然豊かで、住んでいる人が暮らしやすい町
- ・ 昼ごろ、寒川中央公園に行った時、親子・子どもだけで広々とした空間で楽しそうに遊んでいた光景がとても印象的でとても良いところだなあと感じました。
- ・ 安心感、自然の豊かさ
- ・ お話しをお聞きして感じたのは、住み良いまちであるということです。町長がおっしゃっていたように、自然・文化・歴史がそろっていることで、落ちついた雰囲気茅ヶ崎・藤沢などのにぎやかさとは差別化されることが、住むまちとして魅力的だと感じました。
- ・ 空気 人なみ（温かい）落ちついた雰囲気
- ・ 落ちついている、自然、寒川神社、リラックスできる
- ・ まちづくりのテーマが「公園」というところが、誰でも親しみやすく良いと思いました。自然が豊か、空気おいしいという強みは地元のように親近感がわきました。
- ・ 寒川に行くと、時間がゆったりと流れているように感じるため落ちつきたい時には寒川町を散歩して、必ず寒川神社を訪れます。心がおだやかになれる雰囲気があるのが1番の魅力だと思います。
- ・ まちあるきが楽しいところ。歩くたび、初めて見るお店や景色が新鮮だし、一度通った道

- でも安心感があります。
- 保育に関して力をいれている。神社を中心とした地域活動
 - 転入してくる人が多いということは、とてもよい魅力があるということだと思う。
 - 「PR」といったところで、新しい部署を立ち上げ本格的に行動で示している。
 - 豊かな自然と利便性の高さのバランスだと思います。”町全体が公園である”すごくインパクトがあり、魅力を単刀直入に伝えられるキャッチフレーズになると思いました。
 - 大きな公園、また緑が大変多いところ。また、公共施設が充実しているところ。
 - 自然が豊かであること。
 - 大きな商業施設がないというのが逆に良い、落ち着いた町というイメージが持てて私は住みたいと思える。そういうものがなくても人が呼べる町こそ、本当の意味で魅力ある町だと思う。
 - 町のシンボルがある。静かな町。
 - 自然豊かで空気がおいしい田舎っぽいところです。田舎ということは、決してマイナスなイメージではないと思っています。都会的な雰囲気好きな人もいれば、落ちついた寒川町のようなところが好きな人もいます。特に、地方から出てきた学生などは、寒川町に安心感といういやしを感じると思います。
 - のどかであること。緑が多いこと。
 - 私が住みたいと思う町は、落ちついていて安全で子育てを安心してできる町なので、落ちついた雰囲気と子育てを安心してできるところは良いと思います。ですが、やはり遊びたい気持ちもありますので点々とつくるのではなく一角にまとめてつくったりすれば、町全体がうるさくなくなってしまいうような心配は少し減るのではないかと思います。本日はありがとうございました。
 - 公共施設がとてもキレイで利用しやすい。図書館でよく勉強をさせていただいていました。
 - 地元と同じ「におい」がします。

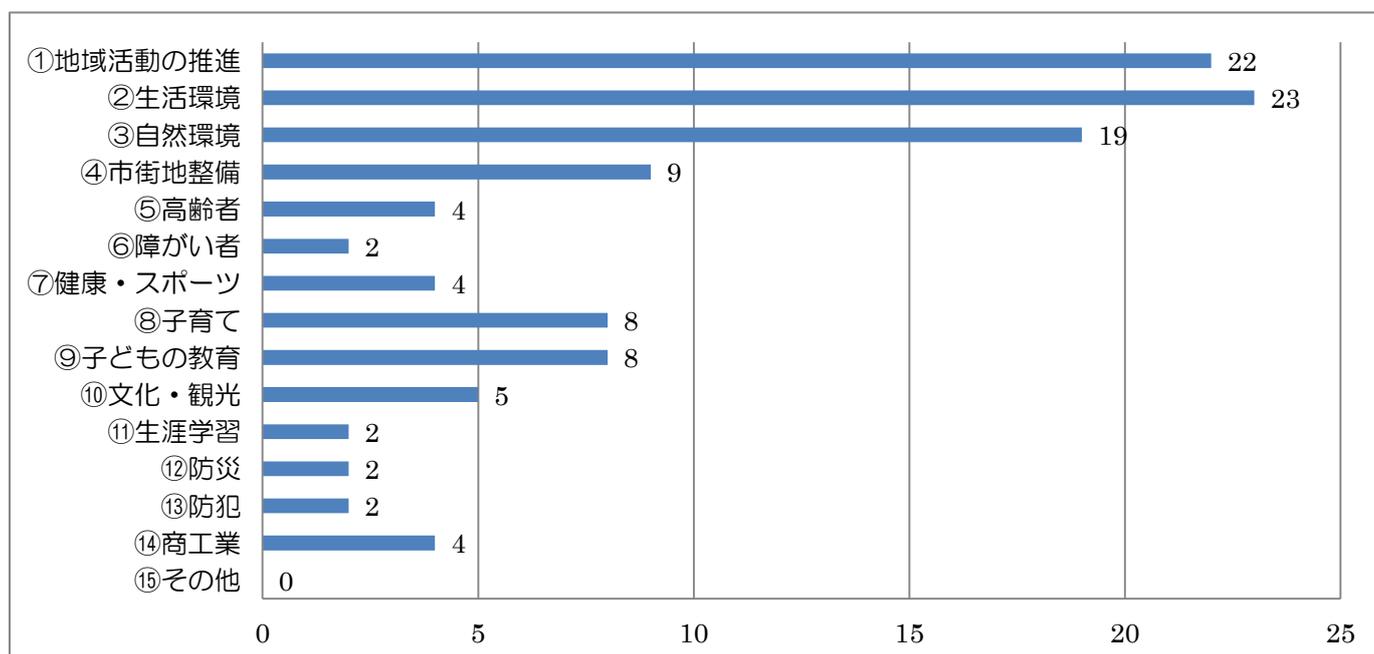
<問4>寒川が魅力ある町であるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

- 今ある町をガラッと変えてしまうと今ある魅力が薄れてしまう可能性があると思う。今ある魅力を残しつつ新しい取り組みを行っていくことが大切なのかなと思う。
- 歩いてくらせるまちづくりだと良いと思います。
- 交通アクセス 花の告知
- 住みやすい、便利であること、誇れる物があること。
- 自己発信をもっとする、PR したもん勝ちだと思います。県外の関東出身ですが、寒川神社（実際に行ってみると、立派な神社で驚きました）のことは聞いたことありませんでした。もっと、流行に乗っても良いのでは？cf.御朱印ブーム
- より交通の便が良くなると住みやすくなると思います。
- 情報を発信すること
- 見える化が重要であると思いました。地域内交流、自治会の若年層の参加率の減少を感じているとのお話を聞いて、その機会づくりをまちから発信していく必要があると感じました。
- 公園、待機児童
- このまま自然や落ちつきを推していくのか、観光客を呼んで、にぎやかにしていくのか決める必要ある？
- 情報のみえる化、夜の活性化
- 定住者を増やすため、寒川の魅力を現在住んでいる人が転入者に伝える必要があると感じます。交流を増やし地域コミュニティが厚くなれば口コミで寒川への転入者が増えると考えます。
- 町民自身が魅力・自慢できる場所を認識すること。そのために、町が先導して良い場所を提唱すべきだと思います。○祭りや花火大会をもっと盛り上げること。老若男女が楽しめて、外部の人も楽しめるコンテンツなので、人のつながりの良さを実感できると思います。
- 保育に関して、都心では保育園とカフェが併設されていたり、老人ホームや美容院と一緒にあったりしているところもある。こういったユニークな園は、話題にもなる上、子どもたちが自分の両親や先生以外の大人との交流につながったりするので、もし寒川町にそういった園がないのであればいかがですか？

- 交通をもう少し良くした方がよいと思う。転入が多いということは、とてもよいことだと思うため、新しく入ってきた人にもっと参画してもらうためのPR活動は力を入れてもよい
- 地域コミュニティを強化した上での移住促進
- 3つの駅を花でうめてみたらどうでしょうか！
- 民間のデベロッパーと共に企画した子育てと花の街のシンボルとなる町営住宅があると良いと思います。事業そのものに話題性があり、成功すれば、町の子育てとしてのブランド力の向上につながると思いました。
- 情報を発信すること
- サッカー、野球をはじめスポーツ人気が目立つ近年の流れに乗じて、スポーツクラブの創設や誘致を行ってみたらどうか？人口は多くないが、クラブとファンが一体となった運営は反響が得られると思う。
- 働く世代が住める町。交通面、徒歩15分以内の住宅地。
- 自然環境の良さを推しているのに、徹底して緑を増やすことと、花のまち(?)なのに花を感じられないということなので、もっと花を感じられるような工夫が必要だと思いました。
- ゴミの軽量化という話が出ましたが、おそらく町をまず好きにならないと、ただ仕事のためなどという理由で住んでいる若者や、新しく住み始めた人は進んで取り組まないと思いますので、やはりまず町をPRをすることが重要なのではないかと思います。
- 問3より、公共施設を利用した、子ども世代に対する「初めての体験」ができる機会が欲しい。(例として、遊びやスポーツからちょっとした資格など体を動かすことから勉学まで)
 - ①最近の若い世代は、様々なことに積極的な子と②なにもかも流れに身を任せるような子との差が激しいと感じている。このことから、寒川の良い意味での田舎っぽさを活かしつつ①にはさらに自分を高めるために、②はおもしろさ等の発見の場になるといった事例は親世代にとってもとても興味を引くものであるため、口コミ等でも広がりやすく魅力的に感じられると思う。
- 発信力

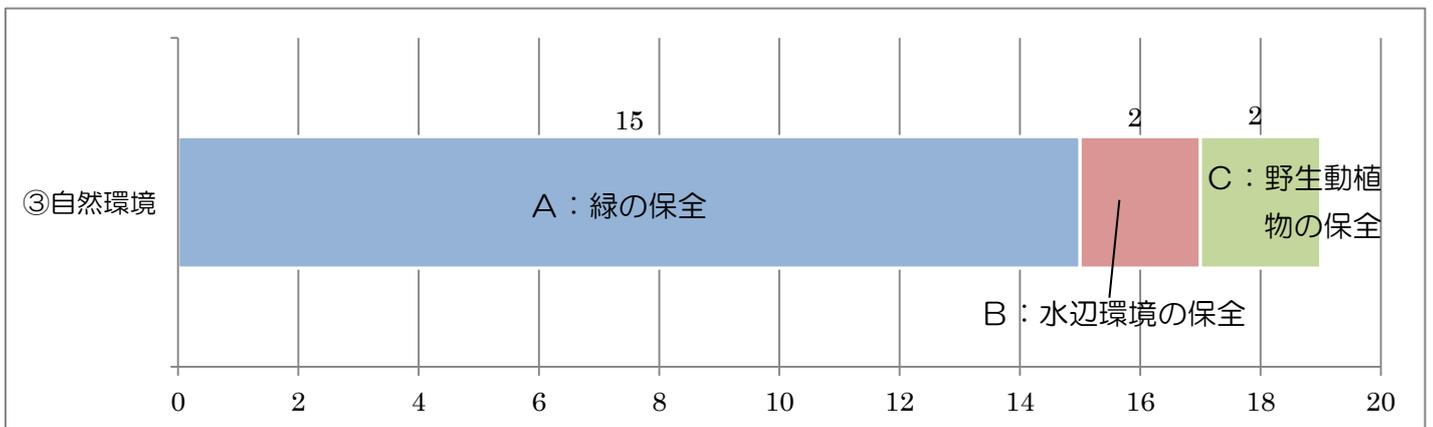
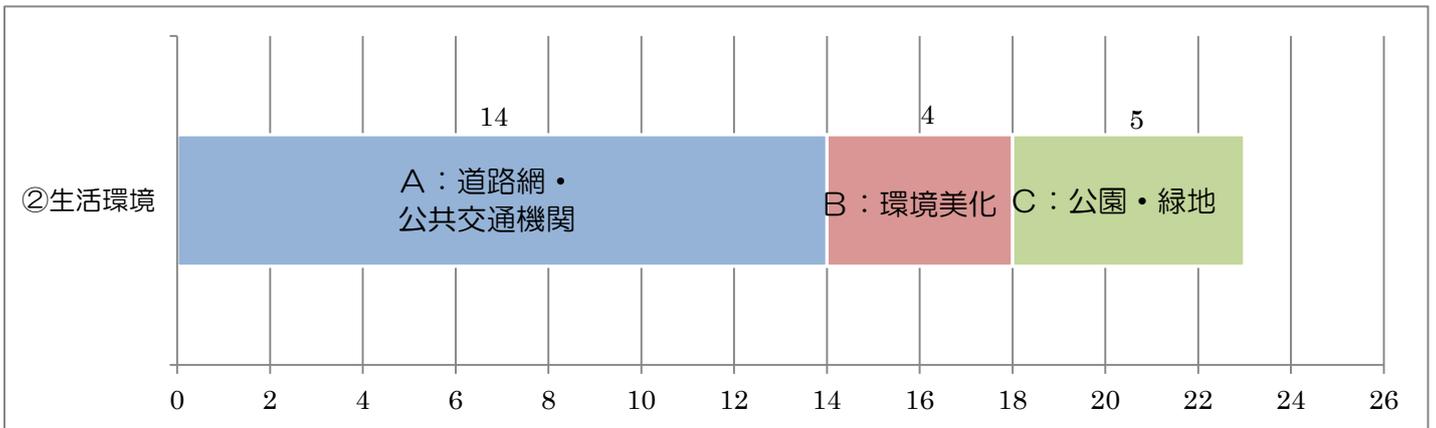
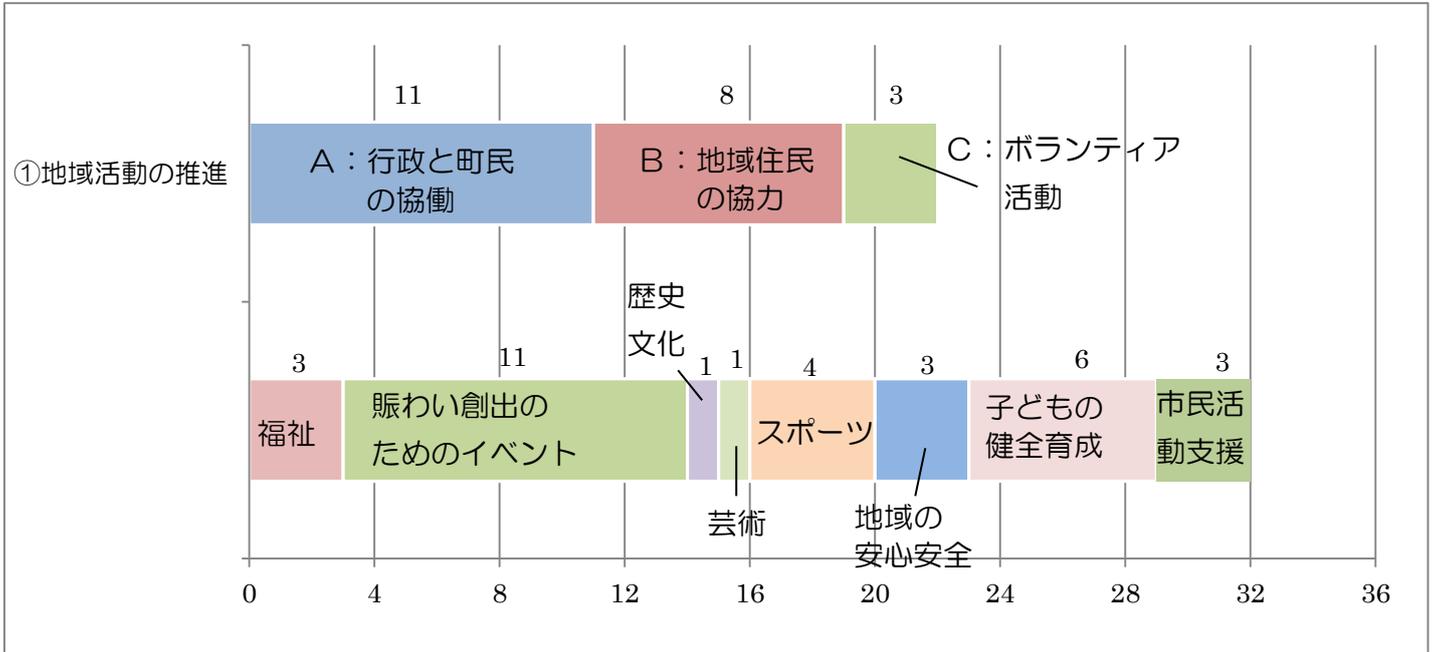
<問5> 今後、まちづくり懇談会で町長と話してみたいことはありますか。(複数回答可)

- ①～⑮の中から選択。(※①～③については、細分化したA～Cの中からも選択。また、①については、さらに細分化した9つの中からも選択。)



<① ③の内訳>

•①については、【A：行政と町民の協働、B：地域住民の協力、C：ボランティア活動】の中から選択。さらに、【健康、福祉、賑わい創出のためのイベント、歴史／文化、芸術、スポーツ、地域の安心安全、子どもの健全育成、市民活動支援】の9つの項目からも選択。



○具体的に懇談したい内容がありましたら、お書きください。

- 観光の面が弱いイメージがあるので、もっとだいたんな政策を打ち出しても良いのでは？遊び心がもっとほしいと思いました。
- 新幹線が（将来）通ることによってよくなるか…

○参加人数の推移

